

水まわりのトラブル対処法



① 水が止まらない場合

前号では、マンションの防音対策について自分でできる対処法についていくつかご紹介しました。今回は水まわりでよく起こるトラブルについて**応急処置やカンタンな解決法**をご紹介します。

まずは止水栓を閉める

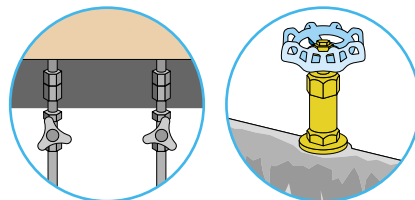
蛇口からいつまでもポタポタと水が漏れたり、流れっぱなしになったりということが時々あります。こうした水まわりのトラブルは緊急の対応を求められることが多く、**ちょっとした知識で意外にもカンタンに解決できるとわかれば安心ですね**。この場合まず、原因としてパッキンのまわりにゴミがたまっているか、パッキンが古くなっていることが考えられます。最初にすることは、**とにかく水を止めること**。通常はシンクの下に止水栓がありますが、なければメーターボックス内に元栓がありますのでこれを閉めます。次に蛇口を開放して残った水を出しきってから分解にかかります。パッキンにゴミがたまっていれば取り除きますが、パッキンの摩耗が原因なら交換が必要。一般的なものはホームセンターなどで市販されていますが、シングルレバーのパッキンは入手が難しいので、販売店やメーカーの窓口にお問い合わせください。

トイレはタンクをチェック

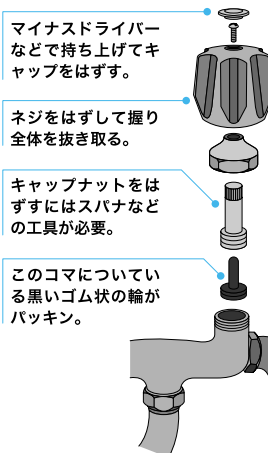
トイレの場合は水が止まらなくなるとちょっとあわててしましますが、こちらまず止水栓を閉じて水を止めます。それからゆっくりタンク内をチェックしてください。①浮きゴムに固形洗剤などがはさまっている場合はそれを取り除きます。②浮きゴムがはずれていたら所定の位置にセットし直します。③浮き玉のアームがはずれていたり、錆がからまるなどして浮きゴムが持ち上がっている場合は正しくセットし直します。**それ以外で部品のどこかが破損していたり、逆に何も異常が発見できない場合は専門業者に修理を依頼してください**。節水目的でよくタンク内にペットボトル等を入れているご家庭がありますが、故障の原因になるほか、水流が抑制されて詰まりの原因にもなりますので十分な注意が必要です。

① 止水栓+元栓

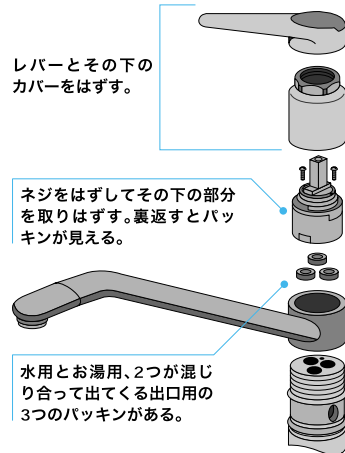
シンク下の止水栓には水用とお湯用があるので2つとも閉めます。メーターボックス内の元栓を閉めると家中の給水を止めることができます。



② 混合水栓の構造



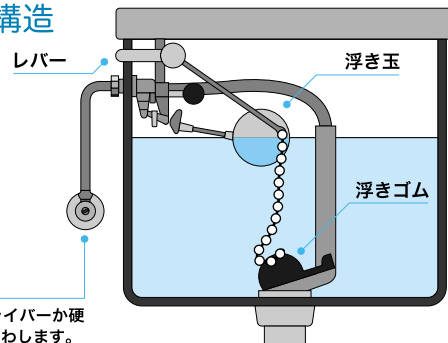
③ シングルレバー水栓の構造



※②③については自然にカバー・キャップがゆるくなるケースもあります。構造がわかっていたらネジの締め上げもカンタンにできます。

① ロータンクの構造

レバーをひねると浮きゴムが持ち上がり、タンク内の水がトイレに流れます。タンク内の水が減ると浮き玉が上がり、それが所定の高さに戻るまで注水されるといしくみになっています。



※次号では、「排水が流れにくい場合」の対処法についてご紹介いたします。